

## 商工中金グループの全国ネットワークを活用した面的支援の実行

### 【申請No.5】

#### 商工中金リース株式会社

##### 1. 取組の概要

親会社、株式会社商工組合中央金庫(以下、「商工中金」)の全営業店の営業担当者に対して、ESG リース促進事業の概要を説明した研修資料を配布(必要に応じ、各営業店と実施する情報交換会の席上で弊社より資料の内容を説明)。各営業担当者が取引先企業に広く周知するとともに、該当する設備ニーズを具体的に有する中小・中堅企業については、弊社が対応を図る体制を構築した。

##### 2. 取組の目的

サプライチェーン全体で脱炭素化の目標を設定し、その達成に取組む中小・中堅企業に対し、全国に拠点を有する商工中金のネットワークを幅広く活用しながら、ESG リース促進事業補助金も活用した脱炭素機器の投資促進を支援する。

##### 3. 取組のポイント

- ・商工中金のネットワークを活用し、サステナブル経営支援と連携した、面的な取組を積極的に推進した。
- ・具体的には、親会社(商工中金)がサステナブルファイナンスとして取組んでいる PIF(ポジティブ・インパクト・ファイナンス)予定先リストを共有し、ESG リース促進事業支援先の潜在ニーズ先として発掘を行っている。
- ・PIF とは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクトを包括的に分析・評価の上、目標を設定し、その実現をサポートする「伴走支援型融資」。本融資スキームが国際原則等に適合していることについて、株式会社日本格付研究所より第三者意見書を取得している。

##### 4. 今後の展望

- ・親会社が取組んでいるサステナブル経営支援との連携を強化し、ESG リース促進事業支援先の裾野をひろげていきたい。
- ・脱炭素機器の導入は、環境面の負荷改善に止まらず、生産性向上や労働環境改善にも繋がることにもなる為、これまでの事例を社内で共有し、脱炭素の要素を取引先の経営に取入れる契機となる取組をすすめ、取引先の行動変容を促していくことを通じて、持続的な企業価値向上に貢献していきたい。